

# このっぽろ通信

令和2年（2020年）3月10日発行



2月9日（日）、「第20回厚別東地区演芸大会」が小野幌会館で開催され、総勢約120名が出演し、歌謡舞踊、コーラス、楽器演奏、演劇、マジックなど20演目を繰り広げ、会場は大変盛り上がりしました。厚別中学校吹奏楽部も演奏と歌を披露してくれました。出演者の皆さん、裏方で大会を支えて下さった実行委員会の皆さん、大変ありがとうございました。



## 厚別東地区の活動状況

厚別東地区のみなさんは、こんな活動をしています



### 迷惑駐車パトロール



令和2年1月17日(金)夜間、小野幌会館を起点に、「迷惑駐車パトロール」を実施しました。

当日は、厚別東地区の町内会の方を始め、交通安全実践会、厚別区役所職員、厚別区交通安全運動推進委員会の方、総勢19名が参加しました。

ご協力いただいた皆さん、寒い中、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

### 子育てサロン”雪遊び”

子育てサロン”くりの木”による「雪遊び」が、1月8日(水)と16日(木)、小野幌会館で開催されました。少雪の影響で、小規模となった滑り台ですが、子どもたちは元気一杯滑っていました。また、会館内では、



幼児食の一口試食会も開催されました。

### ふれあいサロン”会食・お正月遊び”

1月17日(金)、小野幌会館で、新年恒例の「会食・お正月遊び」が開催されました。

31名が参加し、「宝引き」や「いろはかるた」が行われました。その後、昼食をとり、最後にビンゴゲームが行われ、参加者は景品を手笑顔に満ちあふれていました。



### 除雪ボランティア(緊急ヘリポート雪踏み)

2月19日(水)午後から、厚別中学校のグラウンドで、「緊急ヘリポートの雪踏み」が行われました。この事業は、厚別東地区各種団体交流会・まちづくり会議の主催で、今年で11回目となります。この日は、2年生の生徒150名と地域の方25名が参加しました。雪の降る中、生徒らは元気にはしゃぎながらも、しっかりと雪を踏み固めていました。参加された皆様、寒い中大変お疲れ様でした。



## ！ 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症について、札幌市内においても、患者が確認されています。区民の皆様におかれましては、**風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、外出の際には、マスク着用などの咳エチケットや手洗いなどに努めていただくようお願いいたします。**

## 祝 厚別区は11月6日で誕生30周年を迎えました

厚別区は、令和元年11月6日、白石区から分区して30周年を迎えました。記念すべき節目の年を厚別区全体で祝い盛り上げようと、区役所だけでなく、地域団体や企業等によるさまざまな記念事業が実施されました。その一部をご紹介します。30周年をともに祝い盛り上げていただき、ありがとうございました。



あつげー  
あつべっ!!

厚別区キャッチフレーズ

新さっぽろ音楽の日～MUSIC POCKET～



第30回 厚別区民まつり（綱引き）

この他にも地域では  
・国道12号線花いっぱいプロジェクト  
・厚別西地区大運動会  
・ふるさと青葉コンサート 等々  
各種団体では  
・厚別区誕生30周年記念講演会  
・厚別区子どもまつり 等々  
数多くの記念事業が実施されました。

詳細：厚別区地域振興課（まちづくり推進係）

電話 895-2442

## 令和2年「厚別区新成人のつどい」が開催されました

令和2年1月12日（日）、ホテルエミシア札幌において、「令和2年厚別区新成人のつどい」が行われました。今年は1187人（男性571人、女性616人）が成人を迎え、854人が式典に参加。会場では、華やかな振袖やスーツなどの晴れ着に身を包んだ新成人たちが、友人と近況報告をしたり、記念撮影をしたりして楽しんでいました。

式典では、團 広太（だん こうた）さんと小野寺 悠（おのでら はるか）さんが新成人代表として決意を述べ、会場の新成人は成人を迎えたことを改めて自覚した様子でした。式典後のパーティでは、バイオリニストの大平まゆみさんによるミニコンサート、地域の企業・商店・団体からお祝いいただいた景品が当たるお楽しみ抽選会が行われ、会場は大盛り上がり！最後に、厚別区の皆さまからいただいたお祝いメッセージとともに厚別区新成人のつどいは締めくくられました。



詳細：厚別区地域振興課（地域活動担当）

電話 895-2442

# 地区カレンダー (行事の詳細については、「広報さっぽろ」やホームページ、各団体のチラシをご覧ください)

厚別区・札幌市などの動き	地区の動き
<b>3月</b>	<b>3月</b>
1日 札幌市立高等学校(全日制) 卒業式 13日 札幌市立中学校 卒業式 19日 上野幌小学校、青葉小学校 卒業式 23日 札幌市立小学校 卒業式	13日 第3回厚別東地区各種団体交流会 ・まちづくり会議(小野幌会館) 26日 子育てサロン「くりの木」(小野幌会館)
<b>4月</b>	<b>4月</b>
6日 札幌市立小学校 入学式 6日 札幌市立中学校 入学式 8日 札幌市立高等学校(全日制) 入学式	1日 子育てサロン「くりの木」(小野幌会館) 6日 春の交通安全運動街頭啓発(小野幌橋付近) 25日 厚別東町内会連合会定期総会(小野幌会館)
<b>5月</b>	<b>5月</b>

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、行事を中止、延期する場合があります。

## ◆編集後記◆ (所長のつぶやき)

『歲月人を待たず』 昨年4月にまちづくりセンターに着任して、まもなく1年が過ぎようとしています。本当にあっという間の1年でしたが、年を重ねるごとに月日が経つのが早く感じるようになりました。ところで、歳を取ると、なぜ時間の経過が早く感じられるのでしょうか。

フランスの哲学者・ポール・ジャネが発案した『ジャネーの法則』によれば、「主観的に記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられる」というものです。

例えば、50歳の人間にとって一年の長さは人生の50分の1ほどですが、5歳の人間にとっては5分の1に相当します。つまり、50歳の人にとっての10年間は、5歳の人にとっての一年間にあたり、5歳の人にとっての一日は、50歳の人にとっての10日にあたることとなり、体感時間が早くなるのだそうです(1歳の1年は365日、50歳の1年は体感的に1/50の7日)。

二つ目の説として、『新鮮味がなくなるから』というものです。人は未経験のことをしているときは強く意識に残り時間が長く感じますが、慣れてしまうと時間の長さも気にならなくなり、早く感じるようになります。自宅と会社の往復だけで、新しいものに触れる機会が少なくなると新鮮味がなくなり、時間の経過も早くなるというものです。

「時間の流れが速い」と感じることは、「最近、新しいことに挑戦していない」というサイン。

「今週一週間は長かったなあ」と思えるような時間の使い方を考えてみたいと思います。

～編集・発行～

厚別東まちづくりセンター 厚別区厚別東4条4丁目9-3

電話 011-897-2885 FAX 011-897-2887

厚別区役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/>

札幌市役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/>

SAPPORO



さっぽろ市  
02-Q01-19  
31-2-403